Reflection AI システム概要・運用仕様

2026 年 7 月 16 日

東京学芸大学自然科学系理科教育学分野
松浦執研究室

1. AI 提供元・サービス名

項目	内容
提供企業	Anthropic（米国・サンフランシスコ）
サービス名	Claude API
使用モデル	Claude Sonnet（2024 年版）
利用形態	API（プログラムから呼び出す形式）

---

2. システムの内容

項目	内容
URL	https://topicmaps.u-gakugei.ac.jp/epw/reflection/
サーバー設置場所	東京学芸大学構内
利用目的	振り返り学習を深めるための個別対話支援
AI の役割	教師による振り返り指導を補助し，児童・生徒との個別対話を促進する
教師の役割	授業設計・教育判断・評価
AI が行わないこと	成績評価・人格評価・進路判断など
利用範囲	教師が設定する，授業時間などの教師の管理下にある時間内
個人情報	送信しない
管理責任者	東京学芸大学 松浦執研究室

---

3. データの取り扱い

項目	内容
送信されるデータ	児童・生徒がシステムに入力したテキストのみ。システムに入力するデータには，個人を特定する情報は含まれない 教師が常に AI の出力を監視し，不適切な出力がないことを確認する体制である
AI によるデータの学習	児童・生徒が入力したデータは，AI サービスの学習・モデル改善には利用されない

項目	内容
氏名・個人情報	システム内では個人名を仮名・番号で管理。児童・生徒の実名は AI には送信されない
データの保存	東京学芸大学の学内サーバーに保存。Anthropic には保存されない
データの廃棄	研究終了後 10 年間はネットワークから切り離して外部 HDD に保存し，10 年後に物理的に破壊して廃棄する。
通信の暗号化	HTTPS（TLS 1.3）による暗号化通信

---

4. AI の動作について

項目	内容
AI の役割	児童・生徒の振り返り入力文章に対して対話的なフィードバックを返す
教師の関与	教師が AI の語調・学習内容・使用時間を設定・管理する
AI の不適切な応答	AI の対話傾向は，教師が事前にプロンプトに基づいてその応答内容を制御する
使用時間	教師が指定した授業時間内のみログイン可能，使用可能（スケジュール機能）である（児童・生徒の使用に教育指導者が責任を担保するため）

---

5. 安全性・責任について

項目	内容
利用責任者	東京学芸大学 松浦執研究室
研究倫理審査	東京学芸大学研究倫理委員会の承認のもとで研究を実施
保護者同意	児童・生徒の研究参加前に保護者への説明・同意書取得を実施
監督体制	教師の監督のもとでのみ使用。児童単独での使用は不可

---

6. Anthropic の利用規約上の位置づけ

Anthropic（Claude API の提供企業）は、API を組み込んだアプリケーションのエンドユーザー（児童・生徒）の利用については、**アプリケーションの運営者（本研究では東京学芸大学）が適切な管理責任を持つ**と定めています。本研究はこの要件を満たす体制で実施しています。

---

7. AI の教育上の位置づけ

AI による対話は教育支援を目的とした参考情報であり，教育的判断は教師が最終的に行う。